

## 解答

一

問一 a 立て b つい c はたらき d 練り  
 問二 いつもくすから

問三 農耕馬が働いてくれたおかげで生計が成り立ち、五人の子どもたちが労働をする必要なく学校へ通うことができたということ。

問四 1 カ 2 エ

問五 なんとかして馬具に携わる人に会いたいという筆者の願いが、心からの強い思いになった時、初めて今まで見過ごしていた店の存在に気づけたということ。

問六 エ

問七 筆者は自分好みの主観的要素ばかりを要求していて、工藤さんの馬具職人としての誇りや思いを全く考えていなかったということ。

問八 無「理」難「題」

問九 馬具職人としての技術を生かして、人々に喜んでもらえるものをもっと作れたのに

問十 筆者の注文をきっかけに、工藤さんが本来の馬具職人としての技を生かした仕事をするに生きがいを感じてくれ、さらには自分が必要とされている実感を持つことが工藤さんにとって大きな支えとなっているのだと思ったから。

問十一 ア

問十二 ウ

問十三 直接、祝福の言葉を言わなくても、愛情や思いやりの気持ちが伝わる点。

問十四 イエ

二

問一 ア

問二 全員出席した

問三 自分の課題として提出された作品が、例年になく出来がよかっただけでなく、

問四 その中でもさらに抜きん出る作品があったことを喜ばしく思っている。

問五 エ

問六 イウ

問七 ④ ウ ⑤ エ

問八 教授の絶賛している作品とは自分の描いた絵のことだと確信していたが、

問九 カーテンが全て閉められるのを見たことで自分の絵ではないのかもしれないという思いが頭をよぎり、不安が強まりつつある気持ち。

問十 教授が絶賛している作品が自分の絵ではなかったことが信じられず、

問十一 また、自分をしのごう才能を持つ人間の存在を認めたくないという思い。

問十二 a イ b ア c オ

問十三 イ

問十四 「私」の絵は写実的ではなく、技巧を重ね、意識的に美しく描かれたものであるのに対し、「田辺くん」の映像はありのままの光景を素直に映したものだところ。

問十五 打ちのめす

三

問一 (1) 間近

問二 (1) 五分 (2) 養生

(3) 果報

(4) 長物

(5) 白羽

(2) 加減

(3) 意表

(4) 不覚

(5) 光明